

そのメロディに魅せられて♪

S & M～シンフォニー&メタリカ
マイケル ケイメン、メタリカ GIメ00146 篠崎ほか所蔵

私は大学生の時に管弦楽団に入っていました。親友が入ったので一緒に入団したのですが、それまで楽器の演奏経験がなく、クラシック音楽も好きではなかった私にとっては本当に試練の日々でした。団員のほとんどがクラシック好きで、当時私はヘヴィメタルが好きだったので全然音楽の話も合わず、演奏中は眠くなる始末。そんななか私の心の支えとなってくれたのが今回紹介する「S&M」というアルバムです。

本作はヘヴィメタルバンド、メタリカが、サンフランシスコ

交響楽団と1999年に共演したライブの録音です。「BATTERY」「ONE」「ENTER SANDMAN」など、メタリカの代表曲が多く入っていて、ベスト盤的な要素もあります。オーケストラがシンズに負けず存在感を出していて、ヘヴィメタルとクラシックのハーモニーが素晴らしく、初めて聴いた時にオーケストラの演奏の格好良さに痺れました。

それ以来、私は部活動を楽しめるようになりました。慣れない管弦楽団で肩身の狭い思いをしていた、私のよりどころとなった思い出の作品です。

スタッフのセレクション! 家が呼ぶ

若竹 七海ほか著 筑摩書房 BFイ 篠崎ほか所蔵

家賃が安く会社からも近い戸建てでルームシェアをすることになった主人公。住人は自分を入れて四人。皆社会人で忙しいせいか、歓迎会を開いてもらって以来、たまに夕食を一緒にとる程度でほとんど顔を合わせることもなかった。

その日も一人で夕食を作っていると一室から住人の気配がする。彼女も夕食に誘おうと声をかけたが返事はなかった。そんなことが続いていたころ、大切に保管していた生活費が不自然に減っていた。彼女の部屋からは日増しに物音がはっきりと聞こえるようになる。誰もいないはずの共有スペースでは背後に視線を感じるようになった。彼女の様子がおかしくなったのは、ルームシェアの住人達で心霊スポットへ肝試しにいってからではないかと思ひ当たる。

「家が呼ぶ」は左記の「ルームシェアの怪」を含む11編の、物件にまつわるホラー小説集です。心の隙につけいり、恐怖させ、命まで奪ってしまう。得体のしれない何かが潜んで待ち構えている。そんな家に呼ばれてしまったら、もうお手上げですね。

以前にも建物の怪談実話集を紹介させていただきました。その紹介の仕方がいけなかったのか、自分の不注意なのか分かりませんが、ひどい目にあってしまいました。具体的に何があったのか、お話しするのは控えさせていただきます。皆様もホラー小説などお読みになるときは、くれぐれもご注意くださいませ。

暗がりから、あなたを呼ぶ機会をこっそり窺っているかもしれませんので。

篠崎図書館スタッフが選んだ
おすすめ本を紹介しします

編集後記

最近、調子が悪いので筋トレをして、元気なカラダを取り戻します。(風雲ふわふ丸)／夏に落ちていた食欲が劇的に回復!おいしいものを食べるぞー(ぱるめりん)／秋はなんだかメランコリーな気持ちになります。(たてじま)／今年の秋は本をたくさん読みたい。(すずの木)／猛暑による疲労を癒すための秋になりそうです。(卯月)

編集・発行:江戸川区篠崎図書館
住所:〒133-0061

江戸川区篠崎町7-20-19
篠崎文化プラザ内

TEL:03-3670-9102

[しのぎ文化プラザHP]内篠崎図書館ページ

<https://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/>

▼
ツイッター
やってます!



2022年10月1日発行(季刊)

図書館報
ぶらっつ

★ 篠崎

075号



篠崎図書館館長が
みなさんにお伝えし
たい事を記します。

先日仕事でミスをしてしまいました。その対応の過程で、自分自身のダメなところが日々明らかになっていき、落ち込んでいました。

通勤電車の中では読書をするのが習慣になっていますが、最初のうちは気持ちの落ち込みが激しく、ただただ茫然としていて、本を読むことさえもできませんでした。

そんなある日、通勤鞆に入れっぱなしになっていた一冊の本をふと手に取って読み始めました。若い女性が子育てに疲れ

江戸川まいにんぐ 発掘 第75回

大島小松川公園

大島小松川公園は、都営新宿線「東大島駅」から徒歩3分ほど、旧中川を挟んで江戸川区と江東区にまたがる防災公園です。平成9年8月に開園し、災害時には20万人の避難場所となります。

広い敷地面積を誇る園内は5つのブロックで構成されます。江戸川区側に「自由の広場」「季節の広場」「風の広場」の3つ、江東区側に「スポーツ広場」「わんさか広場」の2つの広場があります。

私が家族・友人たちとここを訪れたのは約2年前。江戸川区側にある「自由の広場」では、一面に広がる芝生で、シートを敷いてくつろいだり、ボール遊びをしたり、思い思いに過ごす人たちの様子が楽しそうでした。様々なアスレチック遊具のある場所では、長いローラー滑り台が子供たちに大人気。家族そろって一日中遊ぶことができました。

江東区側にある「スポーツ広場」には、テニスコートやサッカー場、小野球場があり、幅広い世代に利用され

江戸川区は10月で区制90周年を迎えます。本コーナーではこれからも江戸川区に関する身近な情報についてお届けして参ります。

ているようです。旧中川に架かる「さくら大橋」と「もみじ大橋」により、「自由の広場」とつながっています。

そして、園内にはもうひとつの見どころも。「旧小松川閘門」の一部が「風の広場」に保存されています。現在の荒川ロックゲートができるまで、75年にわたり荒川と旧中川の水位調整の役割を果たした閘門です。「ヨーロッパの城を思わせる美しい造形は、今も威風堂々として見応えがある」(OZ magazine NEXTAGE 2017-2018年版)とのこと。過ごしやすいこの季節、自然や歴史に触れられる公園を訪れてみてはいかがでしょうか。

参考資料

『OZ magazine NEXTAGE 2017-2018年版』
スターツ出版 291.3ト17 篠崎ほか所蔵

『都立公園ガイド 平成23~24年』東京都建設局公園緑地部管理課編集 東京都生活文化局広報広聴部都民の声課 K3-29-11 東葛西ほか所蔵

「東京東部7公園」<https://tokyo-eastpark.com/>

P2~P3 特集

「MIB (MOST IMPRESSIVE BOOK)」

P1 吾亦紅だより

P1 江戸川まいにんぐ
「大島小松川公園」

P4 そのメロディに魅せられて♪
「S&M～シンフォニー&メタリカ」

P4 スタッフのセレクション!
「家が呼ぶ」

MIB (MOST IMPRESSIVE BOOK)

読書週間がやって来ました。

今回のテーマは「MIB(Most Impressive Book)」。

特別企画として篠崎図書館の全スタッフが一年間の中で最も印象に残った一冊を紹介します。

やめる時間術



尾石 晴著
実業之日本社
159才
篠崎ほか所蔵

時間術の本は数多くありますが、著者自身が試行錯誤した上で行き着いた答えが書いてあります。まず、やりたくないこと、やらなくても良いことをやめると決める。単純なようで難しいのですが、そこから見えてくるものがあるので、自由な時間が無いと悩んでいる方にお薦めの一冊です。

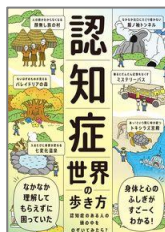
デルス・ウザラ



V.K. アルセニエフ著
安岡 治子訳
小学館
292ア
篠崎ほか所蔵

お金のかかる都会で何不自由なく暮らしていくことと、厳しい自然の中で動物たちと心を通わせ生きていくことの、どちらが正しいのか。どちらが幸福なのか。人間と自然は相容れることができるのか。改めて考えさせられた一冊であった。

認知症世界の歩き方



寛 裕介著
ライツ社
493.7カ
篠崎ほか所蔵

認知症のある人約100人へのインタビューを元に、ご本人の視点からその気持ちや生活の困りごとをまとめた本。認知症の世界の旅行記というコンセプトがユニークだ。将来自分や家族が当事者になった時、認知症とどう向き合うかを考えるきっかけとなった一冊。

橋から見た隅田川の歴史



飯田 雅男著
文芸社
515イ
篠崎ほか所蔵

子どもの頃の花火大会、祖父母と見た時代劇、大川とそこに架かる様々な風情の橋はとても気になる存在でした。そして見つけたこの本!! 隅田川の18の橋の特徴と、いつ何のために造られたのか、周辺の歴史も紹介されていて、より一層親しみがわきました。

パリっ子の食卓



佐藤 真著
河出書房新社
B596サ
篠崎ほか所蔵

タンポポ、ウサギ、エイ、子羊、舌ピラメ、ホロホロ鳥……。美食の国フランスの日常の食事風景が、春夏秋冬テンポよく紹介されている。読んでいっうちに自分も楽しい仲間たちと食卓についているような気持ちになってくる。フランス人の食への愛情が、たっぴりと伝わってくる一冊だ。

韓国エンタメはなぜ世界で成功したのか



菅野 朋子著
文藝春秋
772カ
篠崎ほか所蔵

ここ数年、韓国の音楽や映画等のポップカルチャーの飛躍がいちじるしい。日本からの影響を受けつつも独自のスタイルを確立し、アジア圏だけではなく欧米までも虜にする様は見事と言える。K-POPの歴史や問題を俯瞰したい人におススメの一冊。

イントゥ・ザ・プラネット



ジル・ハイナース著
村井 理子訳
新潮社
785ハ
篠崎ほか所蔵

水中洞窟ダイビングは想像以上に危険なものだった。著者にも何度も命の危機が訪れる。特に南極の氷山の下にある洞窟調査の場面は、恐ろしさと緊張で読んでいて息が詰まるほどだった。そうまでして何故だと思うと同時に、リスクを承知で未知の世界へ挑んでいく彼女の情熱が羨ましくもあった。

童の神



今村 翔吾著
角川春樹事務所
BFイ
篠崎ほか所蔵

著者が主人公・桜暁丸の首塚にお参りした際、木々が騒めき「俺は皆の中にいる」と答えてくれた気がしたという。私の中にも彼がいると信じたい。そして彼の志を継いでいかなければと思う。桜暁丸とは誰で、何を目指して戦い散っていったのか、物語の中で見届けてほしい。

金魚姫



萩原 浩著
KADOKAWA
Fオ
篠崎ほか所蔵

ブラック企業に勤め、うつうつと暮らす潤。ある日、金魚すくいでも入れた琉金を持ち帰ったら、部屋に妖しい美女が現れて。そこから始まる不思議な同居生活。綺麗な装丁とタイトルに惹かれ手に取ったが、現代と中国史を往復する壮大な展開にあっという間に引き込まれた。切なく優しい余韻が残る物語。

神剣



葉室 麟著
角川春樹事務所
Fハ
篠崎ほか所蔵

小柄で女人のようにやさしげな風貌ながら、「人斬り彦斎」といわれ、幕末の京都で勇名を轟かせた河上彦斎の物語。尊王攘夷の実現のため佐久間象山など多くの人物を暗殺し、明治維新後も志を捨てずに刑場の露と消えましたが、私にも最期まで信念を貫いた彦斎のような、ぶれない生き方をしたいです。

やがて訪れる春のために



はらだ みずき著
新潮社
Fハ
篠崎ほか所蔵

認知症の疑いがある、ひとり暮らしの祖母が入院。幼い頃住んでいた祖母の家の庭を、手入れする真芽。かつての夢を思い出し、周りの人たちの協力も得て、家に人が集う元の美しい庭へとよみがえらせる。自然に触れ、土に触れ、花を育てることは、人を癒す力を持っていると感じた。

リアルプリンス



寺地 はるな ほか著
ポプラ社
BFリ
篠崎所蔵

おとぎ話に登場する女性たちをモチーフにしながら、現実の世界観とも地続きになったような物語が展開される短編集です。全6話それぞれに、ベースとなっているおとぎ話とは一味違った面白さが込められています。どこか逞しさのある女性たちに、読んでいて小気味よさを感じました。

ほんとうのリーダーのみつかけかた



梨木 香歩著
岩波書店
J914ナ
篠崎ほか所蔵

コロナ禍の昨今、みんなと同じでなくてはならないという同調圧力が強くなっている。非常時こそ、自らが自らの内なる声に耳を傾け自らの意思で行動をしなければならぬ。この本は、若者に向けた講演をまとめて本にしたものだが、若者だけでなく、全ての方に読んでいたきたいと思う。

おじさんはどう生きるか



松任谷 正隆著
中央公論新社
914マ
篠崎ほか所蔵

人生の曲がり角にいるのか、最近では人の生き様が垣間見える話が好きだ。言わずと知れた歌手ユーミンの夫、音楽プロデューサーである著者のエッセイ。華やかな世界でスマートに生きているように見えるあの人も、何かと悲喜こもごもの日々を過ごしていた。

なつかしく謎めいて



アーシュラ・K. ル＝グウィン著
谷垣 暁美訳
河出書房新社
933ル
篠崎ほか所蔵

この旅行記に出てくるのは常識では想像もできない人々や文化ばかり。どこかグロテスクな感覚を覚えるのは、出てくる世界の風習などが我々に対する風刺を含んでいるからなのかもしれません。ゲド戦記の作者による大人のための異世界旅行記です。

失われたいくつかの物の目録



ユーディット・シャランスキー著
細井 直子訳
河出書房新社
943シ
篠崎ほか所蔵

「生きるとは喪失を経験することだ」という作者。遺された者は悲しみを受け入れるしかない。沈んでしまった珊瑚島、絶滅したカスピトラ。失われたものの魂を呼び戻し語られる事柄は、物語とも記憶とも分らない。作者自身が装丁した本書にも失われたものの姿を蘇らせている。異空間の博物館に迷い込んでしまったかのような気分になった。